

様式 C-10-2 [記入例]

平成20年度科学研究費補助金（基盤研究（A））の研究代表者交替に伴う所属研究機関変更届

平成20年〇〇月〇〇日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

〇〇大学〇〇学部・教授 〇〇〇〇 [印]

研究者番号 1:0:3:4:5:6:7:8

このたび、下記のとおり研究代表者の交替に伴い、私が「新たな研究代表者」となり、研究代表者の所属研究機関が変わりましたので報告します。

記

1. 課題番号 2:0:2:3:4:5:6:7
2. 研究課題名 〇〇〇〇〇〇〇〇に関する研究
3. 交付決定額

39,000,000	円 … ①+②
うち直接経費 30,000,000	円 … ①
間接経費 9,000,000	円 … ②
4. 研究代表者交替前
 - 1) 研究代表者所属研究機関・部局・職・氏名
△△大学・△△学部・准教授
研究代表者氏名 △△ △△
 - 2) 支出済額

ア. 直接経費支出済額	20,000,000	円 … ③
イ. 間接経費 (②=「0」であれば「0」を記入)	6,000,000	円 (③×30%) … ④
5. 研究代表者交替後
 - 1) 研究代表者所属研究機関・部局・職・氏名
〇〇大学・〇〇学部・教授
研究代表者氏名 〇〇 〇〇
 - 2) 使用予定額

ア. 直接経費 (① - ③)	10,000,000	円 … ⑤
イ. 研究機関の間接経費の受け入れの可否	(可) ・ 否	
ウ. 間接経費 (上記イ. が否であれば「0」を記入)	3,000,000	円 … ⑥
6. 補助事業者変更承認年月日 平成20年10月1日

様式 C-10-1 及び 様式 C-10-2 [作成上の注意]

1. この所属機関変更届は、交付決定後において研究代表者が、科学研究費補助金取扱規程第2条に規定する研究機関へ異動した場合に、又は補助事業者変更により研究代表者を所属研究機関の異なる研究分担者に交替する場合に作成し、変更後の研究機関を経由して速やかに提出すること。
また、本様式の提出にあたっては、交付申請書の写（この研究課題が補助事業者を変更している場合は、交付申請書及び当該補助事業者変更承認申請書の写）を一部添付すること。
2. 「3. 交付決定額」欄には、交付決定通知書に記載の交付決定額を記入すること。なお、間接経費の交付を受けていない場合は、この欄を含め全ての間接経費欄に「0」を記入すること。
3. 「4. 2）支出済額」欄には、この申請書の提出時の支出済額（当該研究のために使用した利子（預貯金利息）を除く。）を記入すること。
4. 「4. 2）支出済額」欄の④の間接経費の額は、円未満を切り捨てること。なお、間接経費の交付を受けていない場合は、間接経費欄に「0」を記入すること。
5. 「5. 2）イ. 研究機関の間接経費の受け入れの可否」欄は、該当する箇所には○を付すこと。
なお、間接経費が措置されていない研究種目については、記入しないこと。
6. 様式C-10-1の「7. 上記1.の研究課題に関する確認事項」欄には、1)実績報告書の提出先及び2)研究課題の予定のそれぞれの事項について、該当する番号（1又は2）を選び、該当欄に記入すること。
7. 「特別研究員奨励費」の場合、「課題番号」欄は「採用年度・受付番号」を右詰で記入すること。

(例) ・平成19年度の採用の特別研究員で受付番号が1234の場合

1	9	・	1	2	3	4
---	---	---	---	---	---	---

・平成19年度の採用の外国人特別研究員で受付番号が01234の場合

1	9	・	0	1	2	3	4
---	---	---	---	---	---	---	---

注) 外国人特別研究員のみ受付番号の一桁目に「0」がつく。